

新連載

弥生の王国だより

この夏、発掘調査再開！村中心部の謎に迫る 国史跡青谷上寺地遺跡

●あおやかみじちいせき

どんな遺跡なの？

多様な遺物が出土する「地下の弥生博物館」。
ものと人が行き交う日本海の交易拠点

鳥取市青谷町にある弥生時代の村。当時の村は波が穏やかな入り海に面し、緑豊かな自然に囲まれていました。

遺跡からは当時の暮らしぶりをうかがわせる精巧な木製品や骨角製品など通常の遺跡では朽

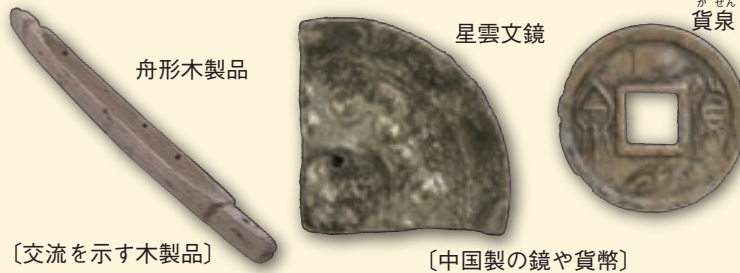
ちて残りにくい遺物を含め様々なものが出土しており、「地下の弥生博物館」と呼ばれています。

中国製の鏡や貨幣など他の地域の製品が多く出土しており、様々な物資が行き交う交易の拠点であったと考えられます。



約1800年前の青谷上寺地遺跡（復元図）

村の中心部



舟形木製品

星雲文鏡

かせん貨泉

〔交流を示す木製品〕

〔中国製の鏡や貨幣〕

担当者からのとっておきNEWS



◀大川泰広 文化財主事

史跡整備のための発掘調査が始まります。今年は何と青谷上寺地遺跡のど真ん中を掘ります。何が見つかるか？土器土器（ドキドキ）です！



復元された竪穴住居



昨年の「むきばんだまつり」の様子



（左）弥生体験の作品
（勾玉、鏡、組紐）

9月、「むきばんだまつり」を盛大に開催予定！ 国史跡妻木晩田遺跡

●むきばんだいせき

どんな遺跡なの？

建物跡や墳丘墓が多数発見された日本最大級の集落跡。
弥生の村が復元され、楽しい弥生体験も

妻木晩田遺跡は、発掘調査によって建物跡900棟以上、有力者の墓である墳丘墓30基以上が発見された日本最大級の弥生時代の集落跡です。

遺跡では復元された1800年前

の弥生の村を見学できるほか、土日・祝日には火おこしや、勾玉・石包丁・弥生の鏡づくりなどのほか、日替わりで特別な弥生体験を楽しむこともできます。

担当者からのとっておきNEWS



◀潮 純一 文化財主事

9月22日（木・祝）は来園者3,000人を超える一大イベント「むきばんだまつり」！この日しかできない特別な弥生体験などをご用意し、今年も多くの方のご来園をお待ちしています♪